

平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

宮城県

行事名称	平成27年度登米市文化財防火デー防火訓練・文化財講話
実施期間・日時	平成28年1月24日（日）9：00～11：00
実施場所	大嶽山興福寺（宮城県登米市南方町本郷大嶽18）
主催者	登米市、登米市教育委員会、登米市消防本部、登米市消防署

■実施内容

訓練の想定

興福寺の西側にある大嶽山交流広場方向から出火、折からの強風に煽られ、市指定有形文化財である「興福寺六角堂」及び「興福寺観音堂」への延焼の虞があると想定。

訓練の内容

地域住民による火災発見。地域住民及び住職による通報訓練。住職及び寺関係者による非常持ち出し訓練。地域住民及び婦人防火クラブによる初期消火訓練（バケツリレー・訓練用消火器）。消防団及び地域住民による火災防禦訓練（消火栓からの放水訓練）を実施。

参加者及び役割分担

興福寺関係者	30名：通報訓練、非常持ち出し訓練
自主防災組織・地域住民	30名：初期消火訓練（バケツリレー・訓練用消火器）
婦人防火クラブ	7名：初期消火訓練（バケツリレー・訓練用消火器）
消防団	20名：火災防禦訓練（消火栓放水訓練）
登米市消防署西出張所	13名：防火訓練総括
登米市南方総合支所	2名：地域団体との調整、庶務
登米市教育委員会	5名：総括、受付、司会進行、庶務総括

特に工夫した点

平成17年の合併以来、毎年開催している文化財講話を防火訓練に引き続いて開催し、今回は会場となった興福寺にまつわる演題で講話いただくことにより、地域の文化財について再認識していただき、文化財保護思想、文化財愛護思想の高揚を図った。

問題点・課題

今回の訓練当日、未明からの降雪により5cm程度の積雪となり、開催が危ぶまれた。今後の訓練実施に備えて、地形を考慮し積雪状況によって開催の可否についての基準を検討する必要性が浮上した。

その他

毎年、文化財防火デーにあわせて防火訓練や文化財講話を行うことで、地元消防団や地域住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要である。

訓練風景



初期消火訓練（水バケツリレー）



火災防禦訓練（消火栓放水訓練）



文化財講話